

令和七年一月二十五日(土) 午後二時始(開場午後一時)於 観世能楽堂

二十五世観世左近記念

SHONON

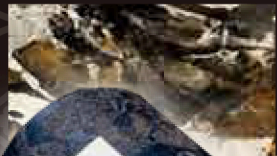
能

正尊

しよぶごん

シテ 松木千俊

起請文
翔入



第三十七回

まゆみ

檀の会

番組

お話

葛西聖司(古典芸術解説者)

舞 二人静

武田文志
武田宗典

大鼓 佃良太郎
小鼓 曾和伊喜実
笛 藤田貴寛

地謡

田口亮二
佐川勝貴
坂井音晴
武田友志
浅見慈一

仕舞 卒都婆小町

武田宗和

地謡

坂井音晴
武田尚浩
岡久廣
浅見重好

休憩二十分

能 正尊

ワキ 弁慶 福王 和幸
起請文 翔入

大鼓 原岡一之 太鼓 櫻井均
小鼓 成田達志 笛 松田弘之

アケ婢 山本泰太郎

源義経 清水義也
静御前 武田智継
江田源二 武田祥照
熊井金郎 武田崇史
前シテ 土佐坊正尊 松木千俊
後シテ 土佐坊正尊 松木千俊

姉和光景 関根祥丸
立衆 小早川泰輝
立衆 小早川康充
立衆 松木崇俊
立衆 田口亮一
立衆 武田章志

地謡

佐川勝貴
浅見慈一
大松洋一
下平克宏
小早川修
岡久廣
武田志房
浅见重好

附祝言

武田友志
武田宗和
武田尚浩

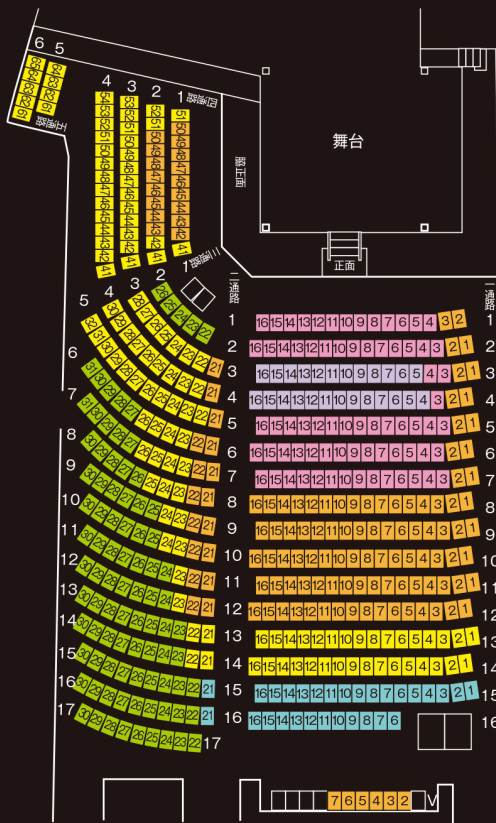
終了予定 午後四時四十分

能 ●正尊 「しょうぞん」

舞台は京都。源氏が平氏との戦いに勝利し、源氏の世になりましたが、源義経は兄頼朝と不仲になっていました。そこへ頼朝の側近、土佐坊正尊が義経追討の命を受けて京都にやって来ます。これを察知した義経(ツシ)は、武蔵坊弁慶(ワキ)に正尊を連れ帰るよう命じます。弁慶は正尊にすぐに義経のもとへ参るよう促しますが、正尊は日を改めて伺うと返答。弁慶は許さず強引に義経のもとへ連れて行きます。義経と弁慶に詰問された正尊は、熊野参詣のために都を訪れたと偽を述べます。さらに起請文に義経を討つつもりはないと、神々に誓う文を書き、読み上げます。義経はそれが偽りであるを知りつつも、正尊の見事な書きぶりに感心し、酒宴を催します。静(子方)が舞を舞い、やがて正尊は退き、義経たちも寝所へ立ち去りました。

前半と後半にそれぞれ見どころのある能です。前半の見どころは、疑いをかけられた正尊が身の潔白を証明するために起請文を書き、読み上げる場面です。嘘を言ったらどんな罰でも受けると神々に誓った長い起請文を物々しく語る難しい場面です。ここで物語の緊張感が一気に高まります。この起請文は(安宅)の「勸進帳」、(木曾)の「願書」とあわせ「三読物」といわれ重宝とされています。

後半では義経方と正尊方の両軍の戦闘がくり広げられます。この一連の場面で作品のクライマックスといえ、変化に富んだ斬り合いの場面が続きます。はじめは両軍の家来たちによる「斬り組」で、正尊方の武士たちは次々と斬られていき、宙返りや仏倒れ(体を真っ直にしたまま仰向けに倒れる所作)などアクロバティックな倒れ方をみせます。その後は弁慶と姉和の騎打ち、正尊と義経静との斬り合いと続き、最後は弁慶と正尊の戦いと次々に展開していきます。(檜書店「能サボ」より)



特別席	15,000円	SS席	13,000円
S席	11,000円	A席	9,000円
B席	※ 8,500円	C席	6,500円
学生席	※ 3,000円	※字幕解説タブレット付	

お申し込みフォーム



二十五世観世左近記念 観世能楽堂

東京都中央区銀座6丁目10番1号 GINZA SIX 地下3階
TEL 03-6274-6579

能楽堂へは三原通り側、ツーリストサービスセンター横のエレベーター・エスカレーターで地下3階にお越しください。
中央通りは土・日・祝で歩行者天国となっております。
お車でご来場の際は通行できませんのでご注意ください。



事務担当：080-2555-0626 (佐藤)
TEL・FAX：03-6767-5555
E-mail：matsunokai@gmail.com
HP：http://matsunokai.com/



- 全席指定席となりますが、席の列・番をご指定の場合は上記の金額プラス2000円になります。
- ※以外の席での字幕解説をご利用の場合は別途1500円になります。(最前列での使用は不可)なお、※以外の席はタブレットのお貸し出しではなく、専用スマートフォンのお貸し出しになります。
- 今後の社会情勢を鑑み、中止や公演内容の変更等が生じる場合がございます。予めご了承下さい。

※お申し込み・お問い合わせを頂いた際に不在の場合は留守番電話にお名前・ご用件・ご連絡先をお入れ下さい。折り返しご連絡させていただきます。